

小学校音楽科における授業再開後の指導事例集

教育芸術社 第一編集部

学校の授業再開後に音楽の授業を行う際、歌唱や一部の器楽の活動等が制限される状況が予測されるため、先にその対応の方法について例示いたしましたが、このたび改めて、各学年の教科書の題材及びそれに含まれる教材の指導において、特段の配慮を必要とするものについて、具体的な指導事例を作成いたしました。

今後の指導計画作成並びにご指導にあたって、お役立ていただければ幸いです。

第1学年 題材1「うたって おどって なかよくなるう」

♪ みんなでいっしょに うたって、ともだちをつくりましょう「うたって なかよし」(1~2時間)

●今 何をする?●

★絵の中から歌を見付け、体を動かしながら範唱を聴く活動を中心に行うようにします。

☆電子黒板やプロジェクター等を活用し、教科書の挿絵を拡大して掲示すると効果的です。また、文字の理解が難しいときは、動物や植物などのイラストを黒板に示すことも考えられます。

1 見て、聴いて

◎「どんな歌が隠れているかな？」

(1) 教科書の挿絵を見ながら、描かれている動物や植物などを見付け、パントマイムで発表する。

例) ことり：手をつばさのように動かす

ぞう：手を長い鼻のように動かす 等

(2) 子供が絵から見付けた動物や植物などから、どんな歌があるかを考える。

- ・ 教師は、子供から出た曲名を文字やイラストで板書する。
- ・ 子供が見付けられなかった歌については、「先生も見付けたよ！」と、挿絵を示しながら紹介する。

2 聴いて、動いて

◎「歌を聴きながら、体を動かそう！」

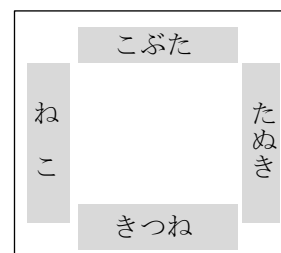
(1) 子供が見付けた歌を、指導用CDを聴きながら確かめる。

- ・ 子供が見付けた歌を一度に全部聴くのは、集中力が続かないので、「今日は3曲聴いてみよう」など、毎回の音楽の授業のはじめに聴くようにすると、楽しみが持続する。

(2) 子供たちが一番よく知っている歌を数曲選んで、指導用CDの範唱に合わせて体を動かす。

例)「こぶたぬきつねこ」:

- ・ こぶたチーム、たぬきチーム、きつねチーム、ねこチームの4つに分かれる。それぞれのチームで距離を保ちつつ、それぞれの代表児童が前に出る。
- ・ 代表児童は、自分の担当する動物のときに体を動かす。
- ・ 各チームは、コール(歌詞をまねて歌う)する代わりに、代表者の動きを模倣する。



例) こぶたチーム 代表児童 ♪こぶた、ぶぶぶー = 鼻を指で上げる

チーム ♪こぶた、ぶぶぶー = 代表児童の模倣

●評価

知 歌詞の表す様子、旋律、リズム、拍と曲想との関わりに気付いている。

態 挿絵から見付けた歌や遊びうたに興味・関心をもち、歌に合わせて体を動かす学習に楽しんで取り組もうとしている。

●これからどうする?●

帰りの会を始める準備の際、子供が見付けた歌をBGMにします。生活の中で何度も聴くことで、歌唱活動が可能になったときに無理なく歌うことができます。音楽の授業のはじめや終わりに常時活動として動くなどしながら、歌を楽しむ準備期間と捉えましょう。

第1学年 題材2「はくを かんじとろう」

♪ たん たん | たん うん || のリズムを うちましょう。「じゃんけんぽん」(1時間)

●今 何をする?●

★指導用CDの範唱に合わせて、じゃんけんの動きをして遊んだりリズムを打ったりする活動を楽します。CDは、ピアノ伴奏とオーケストラ伴奏があるので、適宜変えるとよいでしょう。

★楽器を大切に扱う観点からも、手をよく洗ってからカスタネットに触れるようにしましょう。交代で行うときは、カスタネットを拭いてから友達に渡します。

☆除菌用の消毒液等を準備しておきます。

☆右のリズムカードをつくっておくと、次の学習にも活用できます。(別紙参照)



1 聴いて、動いて

◎「じゃんけんぽんをしながら 心の中で 歌おう！」

(1) 指導用CDの範唱(以下、範唱)を聴いて、じゃんけんで遊ぶ様子を思い浮かべる。

(2) 自由に体を動かしながら、範唱に合わせて心の中で歌う。

- ・おなか、髪の毛、服などに直接触れないようにして、動作化するとよい。

(3) たん たん | たん うん || の部分で手拍子を打ったりじゃんけんの動きをしたりする。

- ・上記のリズム譜を黒板に貼り、手拍子で打って ぐう ぐう | ぐう・ || のリズムであることに気付くようにする。

- ・他にも同じ部分があるかどうか確かめながら聴き、 たん たん | たん うん || の部分で、手拍子を打ったり、じゃんけんの動きをしたりする。

例) ぐう ぐう | ぐう・ || =じゃんけんのグーをして先生とじゃんけんをするように上下に腕を振る。

2 聴いて、奏でて

◎「たん たん | たん うん ||」をカスタネットで打って合わせよう！」

(1) 教科書の挿絵を参考にして、持ち方や打ち方を確認し、交代でリズムを打つ。

- ・人数分のカスタネットがあれば、今回は一人ずつ自分で準備するようにする。
- ・カスタネットの打ち方は、教科書 p. 15 の二次元コードで児童一人一人が確認できる。
- ・カスタネットを持っていない子供は、楽器を持っているつもりで手拍子を打つ。
- ・教師又は隣の友達と交互に打ったり、一人ずつ順に打ってリズムリレーをしたりする。

(2) 音楽に合わせて、 たん たん | たん うん || の部分でカスタネットや手拍子を打つ。

- ・全員が持っても、一度に演奏すると音楽が聴き取りづらくなるので、交代で演奏し、隣の友達が拍にのり丁寧な打ち方で演奏できていたかどうか聴くように促すとよい。
- ・指導用CDのカラピアノ・カラオケを使って、心の中で歌いながら打ったり、数名が交代で前に出て打ったりして、カスタネットの打ち方が音楽に合っているかどうか聴き合う。

●評価

技 範奏を聴いたり絵譜を見たりして、範唱や伴奏に合わせてカスタネットを演奏する技能を身に付けて演奏している。

●これからどうする?●

机や椅子のない教室で学習できる場合は、「♪おなかがすいたら」等のタッカのリズムの部分でスキップをし、「ぐうぐうぐう」等の たん たん | たん うん || の部分で手拍子を打つなどし、心の中で歌う習慣を身に付けておくことが大切です。

第1学年 題材2「はくを かんじとろう」

♪ たん たん | たん うん || のリズムで あそびましょう。

「なまえあそび」「フルーツ ランド」(1.5時間)

●今 何をする？●

★電子オルガンに内蔵されているメトロノームや様々なリズムにのって、手拍子や体の動きを通して、たん たん | たん うん || でリズム遊びをします。「はあい」や3文字の言葉を心の中で唱えるようにすると、リズムが打ちやすくなります。

☆「じゃんけんぽん」で学習したカスタネットを活用し、教師が拍打ちをしたり、児童が交代で打ったりすることもできます。

1 音でお話

◎ 「たん たん | たん うん ||」のリズムに、体を使った音でこたえよう！」

(1) 教師がカスタネットでたん たん | たん うん || を打ったら、心の中で「はあい」と返事をするような気持ちでたん たん | たん うん || と手拍子を打つ。

- ・ 「じゃんけんぽん」のぐう ぐう | ぐう・ | 等と同じリズムであることを思い起こす。
- ・ はじめは、オルガンのメトロノーム機能を使い、慣れたらリズム機能を活用する。
- ・ 教師→全員での学習が慣れてきたら、教師と交互に一人ずつ順に手拍子を打ったり、列ごとに打ったりする。終わるときは、全員で打つようにすると盛り上がる。

例) 教師→児童A→教師→児童B→～全員, 教師→1列目→教師→2列目→～全員

(2) うんの部分で、手を上げたりじゃんけんの動きをしたりして、うんを感じ取るようにする。

- ・ 教師とじゃんけん、班ごとや回数ごとに動きを変えるなどして楽しむ。

例) 1班: 児童A (カスタネット) たん たん | たん うん ||

→1回目: たんは手拍子, うんは両手を上げる

→2回目: たんはひざ打ち, うんは腕組み

2 音でリレー

◎ 「たん たん | たん うん ||」に合う果物の名前を思い浮かべて、体を使って出せる音でリレーしよう！」

(1) 「ばなな」「すいか」など3文字の名前の果物を思い浮かべ、心の中で言葉を唱えながら、手拍子でたん たん | たん うん || のリズムを順番に打つ。

例) 全員→児童A たん たん | たん うん || (心の中で「ばなな(グー)」) →児童B→～

(2) 体を使って出せる音でたんの音やうんの動きを考え、順につなげる。

例) 児童A たん(胸) たん(胸) | たん(胸) うん(パー) || →児童B→～

●評価

技 たん たん | たん うん || のリズムに合う言葉や体を使って出せる音を選んで、即興的に表現する技能を身に付けてリズムで呼びかけ合っている。

思・判・表 リズムや拍、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音や体の動きを工夫し、音楽づくりの発想を得ている。

態 拍にのって言葉を思い浮かべながらリズムをつなげる面白さに興味・関心をもち、体を使って出せる音や休符を意識した動きを工夫して、即興的に表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。

●これからどうする？●

声を出して学習することができるようになったら、授業の導入の際、言葉を入れて遊びましょう。

第1学年 題材2「はくを かんじとろう」

♪ うたにあわせてリズムを うちましよう。 「みんなで あそぼう」(1.5時間)

●今 何をする?●

★ **たんたん | たん うん ||**の短いリズムと**たんたん | たんたん | たんたん | たん うん ||**の長いリズムとのフレーズの違いに気付き、拍にのって表現する活動を中心に授業展開します。



上記のリズムカードをつくっておくと、「かたつむり」の学習でも活用できます。(別紙参照)

1 聴いて 見つけて

◎ 「**たんたん | たんたん | たんたん | たん うん ||**」のリズムはどこかな?

(1) 2本指の手拍子で拍を打ちながら指導用CDの範唱を聴き、**たんたん | たんうん ||**のリズムの部分を見付ける。

- 教科書の縦書きの歌詞から“あそぼう”“うたおう”“はずむ”“きもち”が、**たんたん | たんうん ||**のリズムであることに気付くように、何度か範唱を聴くとよい。
- 「じゃんけんぽん」で使ったリズムの絵譜を活用する。

(2) “みんなで あそぼう”“てと てを ならそう”(1番)が

たんたん | たんたん | たんたん | たん うん ||のリズムであることに気付く。

- “みんなで あそぼう”は、途中で**うん**がないことに気付くように促す。
- 上記のリズムの絵譜も黒板に貼り、**たんたん | たんうん ||**との違いを見出しながら、範唱に合わせて手拍子を打つ。

例) 児童A: **たんたん | たんうん ||**は、短いから「あそぼう あそぼう」と2回繰り返して**たんたん | たんたん | たんたん | たん うん ||**と同じ長さになるんだね。

2 打って 合わせて

◎ 「**たんたん | たんうん ||**と**たんたん | たんたん | たんたん | たん うん ||**」を打とう!」

(1) 2つのリズムの違いを生かし、拍にのってカスタネットや手拍子などで演奏する。

- ペアになり、一人は「フルーツランド」で考えた体を使って出せる音で**たんたん | たんうん ||**を2回打ち、もう一人は、それに続いて手拍子やカスタネットで**たんたん | たんたん | たんたん | たん うん ||**を1回打つ。2回繰り返すと「みんなで あそぼう」の歌と同じ長さをもったリズムのフレーズになる。

(2) 楽器や体を使って出せる音の音色に気を付けながら、範唱に合わせて表現する。

- カスタネットの音の出し方や扱い方を振り返りながら、音色に意識を向けるようにする。
- (1)で演奏したペアで範唱に合わせて演奏し、役割を交代して楽しむ。

●評価

知 歌詞の表す様子やフレーズと曲想との関わりに気付く。

知・技 音色と演奏の仕方との関わりに気付き、音色に気を付けて音を合わせてカスタネットや手拍子等を演奏する技能を身に付けて演奏している。

思・判・表 音色やリズム、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の仕方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。

●これからどうする?●

「うたごえ」コラムの内容については、2学期の学習の中で、折にふれて指導を繰り返すようにしましょう。

第1学年 題材3 「はくに のって リズムを うとう」

♪ おんがくに あわせて リズムを うちながら ききましょう。「しろくまの ジェンカ」(2時間)

●今 何をする?●

★音楽に合わせて自由に体を動かしながら、楽しく聴くようにします。手拍子をしたりステップを踏んだりして、拍にのる感じをつかみます。

☆**たん うん | たん うん | たん たん | たん うん ||** のリズムカードを用意します。(別紙参照)

☆カスタネットは、「じゃんけんぽん」で使ったことを思い出して、扱い方に注意します。

1 聴いて、見て、動いて

◎「音楽に合わせて 体を動かそう！」

- (1) 音楽を聴きながら、友達に触れないように自由に体を動かす。
- (2) 教科書の挿絵を見て**たん うん | たん うん | たん たん | たん うん ||** のリズムに気づき、挿絵を指さしながら音楽を聴く。
 - ・白熊の帽子とマフラーが音符と休符に対応し、影が拍になっていることを気付くようにする。
- (3) 音楽に合わせてジェンカのステップを踏む。
 - ・本来は肩と手をつないでステップを踏むが、今回は一人で行うようにする。
 - ・互いに近づき過ぎないように気を付け、少人数ごとに交代しながら練習するようにする。
 - ・全体を3つの組に分けて、**あ**=1の組、**い**=2の組、**あ**=3の組 のようにフレーズごとに動くようにする。

2 聴いて、奏でて

◎「**たん うん | たん うん | たん たん | たん うん ||** をカスタネットや手拍子で打って合わせよう！」

- (1) リズムカードを掲示し、挿絵のリズムと同じであることを知り、手拍子やカスタネットで打つ。
 - ・教師はクラベスなどを打って、拍が分かるようにする。
- (2) 音楽に合わせて、カスタネットや手拍子で打ったり動いたりする。
 - ・**あ**は手拍子、**い**はカスタネットなど、まとまりごとに分担奏をする。互いに聴き合って、拍にのりながら演奏するように促すとよい。
 - ・手拍子、カスタネット、ステップのグループに分かれ、役を交代しながら音楽に合わせて表現する。

●評価

知 リズムや拍、フレーズと曲想との関わりに気付いている。

思・判・表 リズムや拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさや面白さを見出し、曲全体を味わって聴いている。

態 リズムや拍に興味・関心をもち、体を動かしながら聴く学習に楽しんで取り組もうとしている。

●これからどうする?●

体育の授業やお楽しみ会など、体を動かす活動の時間に取り入れて楽しみましょう。歌うことができるようになったら、ぜひ、歌いながら「しろくまの ジェンカ」を踊ってください。

第1学年 題材3「はくに のって リズムを うとう」

♪ かたつむりに よびかけるような きもちで うたいましょう。「かたつむり」(1～2時間)

●今 何をする?●

★歌詞の内容からかたつむりの様子を思い浮かべたり、歌に合ったリズム伴奏を工夫したりします。

☆電子黒板、プロジェクター等などで教科書の挿絵や既習の3つのリズムパターンを拡大して掲示できるようにすると効果的です。

☆教科書 p.23 の二次元コードを読み取り「かたつむり」を選ぶと、範唱(1番のみ)が流れます。タブレット等が使える場合は、聴きながらリズムを工夫することができます。

1 見て、聴いて

◎「かたつむりの様子を思い浮かべよう！」

- (1) 歌詞を黙読し、指導用CDの範唱を聴いて、かたつむりがどのような様子なのか想像する。
 - ・教科書の挿絵で「あたま」「つの」「めだま」「やり」などのかたつむりの特徴を確かめながら、どのような気分を感じ取るように助言する。
- (2) 指導用CDの範唱を聴きながら、かたつむりになった気分で体を動かす。
 - ・フレーズごとに動きを変えるようにし、最後のフレーズは呼びかけている感じになるように助言する。
 - ・動くときは人に触れないように気を付けるよう促す。

2 工夫して、合わせて

◎「歌に合ったリズムを工夫しよう！」

- (1) カスタネットで既習の3つのリズムを復習する。
 - ・教科書 p.23 のリズムを掲示し、オルガンのメトロノーム機能などを活用して拍を示すと、拍にのる感じをつかみやすい。
 - ・カスタネットの取り扱いに注意するようにする。
- (2) 「かたつむり」の3つのフレーズに、それぞれのリズムを合わせてみる。
 - ・教師がオルガンなどで旋律を示しながら、フレーズごとにリズムを変えて確かめるようにする。カスタネットの音の出し方にも気を付けるようにしたい。
- (3) ペアで、それぞれのフレーズに合ったリズムを工夫する。
 - ・隣どうしに座り、向き合わないよう気を付ける。
- (4) 指導用CDの範唱に合わせて、心の中で歌いながら、自分たちで工夫したリズム伴奏を楽しく演奏する。

●評価

知・技 歌詞の表す様子や気持ちと曲想の関わりに気付き、楽器の音色に気を付けて表現する技能を身に付けてリズムを打っている。

思・判・表 リズムや拍、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、音の出し方やリズムの打ち方を工夫し、どのように表現するかについて思いをもっている。

●これからどうする?●

学んだ3つのリズムは、2学期以降に歌ったり合奏したりするときに、リズム伴奏として応用することができます。また「かたつむり」は歌い継がれてきた季節の愛唱歌です。声を出せるようになったらのびのびと歌うために、必ず心の中で歌いながら活動しておくことが大切です。

第1学年 題材3「はくにとつてリズムをうとう」

♪ たんと たたのちがいにきづいてリズムをうちましょう。「ぶんぶんぶん」(1～2時間)

●今 何をする?●

★既習の たん たん | たん うん || と新しく出てきた たた たた | たん うん || のリズムの違いの面白さを、手や膝を打ったり楽器を使ったりして学習します。

★楽器の扱い方を思い出し、カスタネットと同様にタンブリンも気を付けて触れるようにしましょう。

☆除菌用の消毒液等を準備しておきます。

☆ たた たた | たん うん || のリズムカードを用意しておきましょう。

☆授業支援DVDを活用し、タンブリンの演奏の仕方を参考にすると分かりやすいです。

1 聴いて、感じて

◎「リズムの違いが分かるかな？」

- (1) 教師が手拍子で打つ たん たん | たん うん || と たた たた | たん うん || のリズムの違いを聴き取って、模倣(まねっこ)をする。
- (2) 歌詞を黙読しながら指導用CDの範唱を聴き、 の部分が2つのリズムと同じであることに気付いて、手拍子で打ったり膝打ちをしたりする。
 - ・教科書p.25の絵譜を参考にして、たたはたんを分割したリズムであること理解するようにする。
 - ・たん たん | たん うん ||を打つ児童とたた たた | たん うん ||を打つ児童で交互に打つ、たん たん | たん うん ||は手拍子で、たた たた | たん うん ||は膝で打つなど、いろいろな打ち方を工夫すると飽きずに身に付けることができる。

2 聴いて、奏でて

◎「たん たん | たん うん || たた たた | たん うん ||をタンブリンで打とう」

- (1) 教科書の挿絵を参考にタンブリンの持ち方や打ち方を知り、2つのリズムを打つ。
 - ・よい音を出すように気を付けて、2つのリズムをペアで分担したり、一人で打ったりする。
- (2) 教師のオルガンなどの範奏に合わせて、 の部分をタンブリンで演奏する。
 - ・「たたたた」の部分は急がないように助言する。
 - ・聴くグループと音を出すグループに分かれて、互いに聴き合うようにする。
- (3) 指導用CDの範唱に合わせ、心の中で歌いながら、曲想を感じて楽しく表現する。

●評価

知・技 リズムの違いと曲想との関わりに気付いて、範唱や範奏を聴いたり絵譜を見たりして表現する技能を身に付けて演奏している。

技 範奏を聴いたり絵譜を見たりして、歌に合わせてながら、音色に気を付けてタンブリンを演奏する技能を身に付けて演奏している。

思・判・表 楽器の音色、リズムやフレーズの違い、拍を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ感じ取りながら、演奏の仕方を考え、どのように表現するかについて思いをもっている。

態 リズムやフレーズの違いに興味・関心をもち、表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。

●これからどうする?●

「たん」と「たた」は、これからの学習にたくさん出てきます。いろいろな歌や合奏で、意識して歌ったり演奏したりして、音符に対する興味・関心を高めましょう。

第1学年 題材3「はくについて リズムを うとう」

♪ たんと たたをつかって ことばで リズムをつくりましょう。「ことばでリズム」(1~2時間)

●今 何をする？●

★あ たん たん | たん うん || と い たた たた | たん うん || の二つのリズムに合う言葉を選び、反復や呼びかけとこたえを用いて音楽づくりをします。

☆3文字と5文字の食べ物のカード(教科書 p.26 を参考に)を掲示できるようにします。

☆教師は、カスタネットやクラベスなどを使って拍を示すようにします。また、拍を感じるには、電子オルガンに内蔵されているメトロノーム機能や様々なリズムを使うこともできます。

1 聴いて、試して

◎「リズムをつなげよう！」

- (1) 教科書の挿絵や掲示された食べ物カードの言葉から、教師があ(3文字)とい(5文字)のリズムに合う言葉を選んで手拍子を打ち、児童は心の中で唱えながら模倣する。
- (2) あといに合う言葉を選び、教師の呼びかけに心の中で唱えながら、選んだリズムを手拍子で打ってこたえる。
 - ・教師はカスタネットやクラベスなどで拍打ちをする。(オルガンのメトロノーム機能を活用してもよい)
- (3) ペアで即興的にリズムをつなげる。
 - ・ペアは隣どうしに座るようにし、向き合わないように気を付ける。
 - ・同じリズムを繰り返したり(模倣)、違うリズム(会話)でこたえたりする。
例)〈模倣〉あ → あ , い → い 〈会話〉あ → い , い → あ

2 工夫して、表現して

◎「リズムに合った言葉を思い浮かべて、体を使って出せる音でつくろう！」

- (1) 2つのリズムに合った言葉を思い浮かべながら、反復や呼びかけとこたえを用いて、いろいろなリズムの組合せを工夫し、手拍子で打つ。
例)〈反復〉ばなな(うん)|すいか(うん)|| おむらいす(うん)|さつまいも(うん)||
〈呼びかけとこたえ〉えびふらい(うん)|とまと(うん)|| たまご(うん)|めだまやき(うん)||
- (2) 「フルーツランド」の学習を思い出し、自分で考えたリズムの組合せを、体を使って出せる音で表す。例) たたたた(膝)たん(手)うん(グー)|たん(肩)たん(肩)たん(肩)うん(グー)|
- (3) 自分のつくったリズムを、友達とつなげて楽しむ。
 - ・ペアでつなげたり、教師の示す拍にのって、全員でつなげたりすることもできる。

●評価

知・技 二つのリズムに合う言葉を使い、そのつなげ方の特徴に気付き、即興的にリズムをつなげたり反復や呼びかけとこたえを用いて簡単な音楽をつくったりする技能を身に付けている。

思・判・表① 二つのリズムの違いを生かし、即興的にリズムの組合せを工夫し、音楽づくりの発想を得ている。

思・判・表② リズムや拍、反復、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの動きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リズムのつなげ方を工夫し、どのように音を音楽にしていこうかについて思いをもっている。

態 リズムのつなげ方の違いに興味・関心をもち、リズムの組み合わせ方を工夫したり友達とつなげて音楽をつくったりする学習に楽しんで取り組もうとしている。

●これからどうする？●

声を出せるようになったら、リズムの復習として振り返るとよいでしょう。また、身の回りの言葉(例:ぼうし、らんどせる 等)から選んで、発展的につくることもできます。

第1学年

♪ うみの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。「うみ」(1時間)

●今 何をする?●

★歌詞の表す情景や気持ちに思いを寄せながら、3拍子の拍のまとまりやリズムの反復等が生み出す曲想を味わって表現することを中心に学習します。

☆教科書の挿絵を拡大したり、海の写真や動画を用意したりしておく、情景が容易に想像できます。児童の経験も大切にしたいものです。

☆教科書 p23 二次元コードを読み取り、「うみ」を選ぶと曲が流れます。タブレット等がある学校では、それを使って、各自が3拍子の手遊びを工夫する活動を行うことができます。

1 見て、聴いて

◎「海って どんな感じ?」

- (1) 教科書の挿絵や写真を見たり、絵本を読んだりして、海の情景を思い浮かべる。
 - ・「うみの いいもの たからもの」(ちいさな かがくのとも 大崎清夏 作 山口マオ 絵 福音館書店)
 - 「うみ ざざざ」(ひがし なおこ 作 きうち たつろう 絵 くもん出版)等の読み聞かせをしたり、児童の経験を引き出したりすると効果的である。
- (2) 指導用 CD の範唱を聴き、海についてのイメージを深める。

2 聴いて、動いて

◎「歌を聴きながら、3拍子の拍のまとまりやリズムの反復を感じ取ろう!」

- (1) 指導用 CD の範唱に合わせて、3拍子のまとまりを感じながら体を動かす。
 - ・ゆったりした旋律に合った動きになるように促す。教師が音楽に合わせて3拍子の拍打ちをするようにすると、自然に3拍子の感じをつかむことができる。
- (2) 範唱に合わせて、いろいろな3拍子の拍打ちを工夫する。
 - 例) 1 (膝) 2 (手) 3 (手) ~, 1 (肩) 2 (膝) 3 (膝) 等
 - ・旋律の感じに合った柔らかい拍打ちをするように助言する。
- (3) 旋律のリズム たん たん たん | たた たん たん | たた たん たん | たーあー うん || を手拍子で打つ。
 - ・このリズムが2回繰り返されている曲であることに気づき、心の中で歌いながらリズム打ちをするようにしたい。
- (4) ペアで拍打ちと旋律のリズム打ちに分かれ、範唱に合わせて表現をする。
 - ・歌詞の情景を思い浮かべながら、互いに合わせるようにする。

●評価

知 歌詞の表す情景と、旋律、リズムや拍と曲想との関わりに気付いている。

思・判・表 歌詞の表す情景を想像したり、3拍子やフレーズを聴き取ったり、それらの働きが生み出すさや面白さを感じ取りながら、表現の仕方を工夫し、どのように表すかについて思いをもっている。

態 歌詞の表す情景を想像したり表現を工夫したりして、思いをもって表現する学習に楽しんで取り組もうとしている。

●これからどうする?●

愛唱歌として、学級の今月の歌などで取り上げ、折にふれて歌えるようにしましょう。

第1学年 題材4「みのまわりのおとにみみをすまそう」

♪ みつけた おとで よびかけあいましょう。「おとを さがして あそぼう」(1~2時間)

●今 何をする?●

★思うように声を出ることができない今こそ、普段は気が付かない身の回りの音に耳を傾けてみましょう。学校で聞こえる音に耳を澄まして、探し出した音で音遊びをします。

☆授業支援DVD(前半部分のみ使用)を活用すると、どんな活動をするのかわかり易く知らせることができ、また、学習の雰囲気をつくることもできます。教科書 p.30 の挿絵を拡大掲示するなど効果的です。

1 耳すまし

◎「何が聴こえるかな？」

- (1) 教師が鳴らすトライアングルの音を聴き、どんな音に聞こえたか発言する。
 - ・トライアングルの響きが消えるまで、しっかり聴くようにする。
 - ・挙手は無言できるようにし、発言は大きな声にならないように気を付ける。この学習では音を大切にすることも身に付けたいので、心掛けるようにしたい。
- (2) 周りの音に耳を澄まして聞こえる音を聴き取り、どんな音が聞こえたか発言する。

2 いい音見つけ

◎「音を探して遊ぼう」

- (1) 教室の自分の身の回りで、よい音だなと思った音を見付ける。
 - 例) えんぴつ、紙、プラスチックの物 等
 - ・探すときは耳障りな音や不快な音を出さないよう、丁寧に行うように気を付ける。
- (2) 見付けた音の素材から、いろいろな音の出し方を試し、様々な音色を探し出す。
 - 例) 軽くたたく、こする、指ではじく、振る 等
- (3) 友達とペアで紹介し合い、似ている音や違う音の面白さに気付くようにする。
- (4) 呼びかけとこたえを用いて、つなげ方を考えながら、互いの音を即興的につなげて楽しむ。
 - 例) 呼びかけに対して、
 - 〈まねっこ〉似ている素材、同じ音の出し方、同じ音の長さでこたえる
 - 〈会 話〉違う音、違う音の出し方、音の長さを変えてこたえる

●評価

知 学校生活の中で聞こえる様々な音の特徴に気付いている。

技 見付けた音のつなげ方の特徴に気づき、呼びかけとこたえを用いて即興的に表現する技能を身に付けている。

思・判・表 聞こえた音の音色を聴き取り、その音のよさを感じ取りながら、それらの組合せが生み出す面白さを考え、呼びかけとこたえの仕方を工夫し、音楽づくりの発想を得ている。

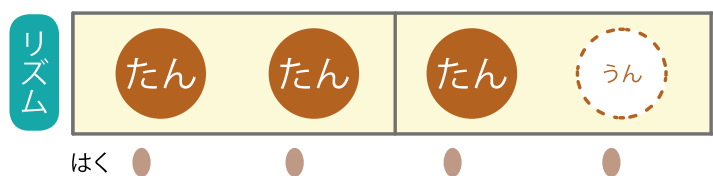
態 学校生活の中の音から、身の回りの様々な音への興味・関心を広げながら、聞こえる音を聴き取り、見付けた音を友達に伝えて、音遊びを楽しもうとしている。

●これからどうする?●

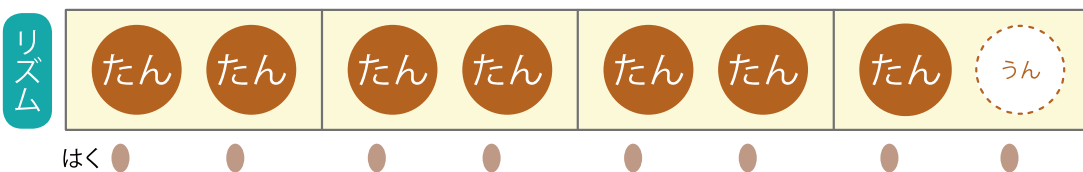
授業の合間などで耳を澄ませる時間を設け、聞く習慣を身に付けましょう。声を出せるようになったら、いろいろな声を使って楽しめます。

[別紙 リズムカード]

● 題材 2 「じゃんけんぽん」



● 題材 2 「みんなであそぼう」



● 題材 3 「しろくまのジェンカ」

